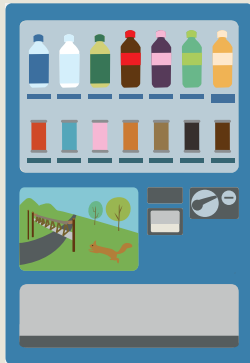




森と命を繋ぐ架け橋プロジェクト

募金のできる自動販売機のご提案

飲料自動販売機を通して樹上性野生生物保全のための
アニマルパスウェイ普及へのご支援をお願いいたします。



森林は生物多様性の豊かな生態系です。森には、例えば国の天然記念物のニホンヤマネや、地域によっては既に絶滅した可能性の高い個体群に分類されるニホンリスなど、枝から枝を通り道にして棲息する樹上性の小動物がいます。

わたくしたちが利用する道路などはその通り道を分断しています。時には道路を横断しようとする生き物たちを轢いてしまうロードキルも起こります。「一般社団法人アニマルパスウェイと野生生物の会」は主にこのような樹上動物の保全とそのためアニマルパスウェイの普及を目指しています。

～私たちにとっては大切な道、でも困っている生き物がいることを知ってください～

森と命をつなぐ歩道橋 ～ アニマルパスウェイ～

日本の森林面積率は約 68% ですが、道路の総延長は地球の 30 周以上です。森林が分断されると、枝から枝に渡り棲んでいる樹上性の野生動物は大きな影響を受けます。棲息環境の狭小化やロードキルにより子孫を残せる確率が少なくなると、森林の生態系が徐々に劣化します。道路や鉄道などの連続する構造物は、生活や防災などにとって極めて重要ですが、困っている生き物もいることを忘れてはなりません。森をアニマルパスウェイで繋ぐのはこのような状況を解決するための一手段ですが、ロードキルを減らし、遺伝子の多様性の保全活動へのご理解とご支援をお願いいたします。



森の小動物をロードキルから守るために

アニマルパスウェイを利用する野生生物たちには、ニホンヤマネ、ヒメネズミ、ニホンリス、ニホンモモンガ、他に、ムササビ、エゾリス、エゾモモンガ、ケナガネズミ、ホンドテン、ニホンザル、などがいます。

やまね博士 湊 秋作から

ヤマネや樹上性小動物を守ることは
森を守り、みんなを守ることに
つながります。アニマルパスウェイの普
及に支援して皆さんも森を守る
活動に参加してください。



一般社団法人 Animal-pathway & Wildlife Association (ApWA)
アニマルパスウェイと野生生物の会



森と命を繋ぐ架け橋プロジェクト

募金型自動販売機のご提案

～ 企業の社会貢献活動（CSR）として ～

募金型自動販売機を設置し、売り上げ手数料の一部を寄付金として
アニマルパスウェイの普及活動に活用いただく事で、
社会貢献への取り組みに参画頂けます。

募金の仕組み



寄付手続きは自販機のベンダーが行うため、
設置企業・設置者の負担はありません。

導入のメリット

- ・ 「生物多様性保全」への寄与
- ・ 企業の CSR 活動の認知とイメージアップ
- ・ 社員教育への利用
- ・ 寄付金の当法人 HP、報告書等での公開など



森と命をつなぐ歩道橋 ～アニマルパスウェイ～

道路や鉄道をいつも利用している皆様には是非、分断されている森に棲む樹上性動物をロードキル（車による轢死）から守り、遺伝子の劣化を防ぐ（遺伝子の多様性の保全）活動へのご理解とご支援をお願いいたします。



一般社団法人 Animal-pathway & Wildlife Association (ApWA)
アニマルパスウェイと野生生物の会